

令和3年度(2021年度) 事業計画

①理事会等の開催状況

	理事会(回)	理事協議会(回)	評議委員会(回)	施設調整委員会(回)
2018年	9	1	1	11
2019年	9	3	1	12
2020年	10	0	1	11

②その他の会議の開催状況

	第三者委員会(回)	第1期中経経営計画協議会(回)	第1期中経経営計画協議会委員(回)	第1期中経経営計画協議会委員(回)
2018年	2	0	0	0
2019年	3	0	0	0
2020年	2	4	17	17

③理事長職務執行状況報告

	報告回数	役員研修会(回)	職員研修会(回)
2018年	2	0	0
2019年	2	2	3
2020年	2	0	0

④研修会の開催状況

	金額(千円)
2018年	127,330
2019年	214,570

前年度実績及び評価  
(2020年度最終息込)

⑤社会福祉充実残額

	法人全体 人員数	法人全体 人員数	サードパーティ活動収益 当期中間決算額	サードパーティ活動収益 当期中間決算額
2018年	714,321,892	449,265,022	67,609,737	59,932,560
2019年	703,751,286	448,944,230	62,221,793	61,945,478
2020年	718,855,000	453,227,000	72,174,000	71,263,000

⑥経営状況(法人全体)

	本部拠点区分 人員数	本部拠点区分 人員数	サードパーティ活動収益 当期中間決算額	サードパーティ活動収益 当期中間決算額
2018年	0	1,245,000	-7,188,015	-3,745,688
2019年	425,000	1,270,000	-10,953,207	-3,664,864
2020年	0	1,270,000	-8,632,000	-3,808,481

①(理事会等の開催状況について)

・新型コロナウイルスの影響で、10回の開催中3回が定款第26条第2項の規定に基づいた「理事会の決議があったものとみなし理事会を開催しない」形式であり、その他は法人外の施設を利用しての開催であったことから、今後の理事会の開催方法等について検討する必要がある。

②(その他の会議の開催状況について)

・第三者委員会議は、回数が少ないが、充実した内容であった。しかしながら、将来的には開催回数・内容ともに充実させる方向が望ましい。

③(理事長職務執行状況報告について)

・決算期、上半期終了時の年間2回実施した。今日までは、決算並びに中間報告的な意味合いであったが、今後は第1期中経営計画に基づく進捗や課題が具体的に報告できるような検討する必要がある。

④(研修会の開催状況について)

・新型コロナウイルスの発生により一度も開催できなかった。今後は、こうした状況の中においてもZOOM等を活用して実施できる方策を検討する必要がある。

⑤(社会福祉充実残額について)

・当初計画から、社会福祉充実残額が大きく乖離したことから計画変更を行った。  
・令和3年度は計画最終年度となることから、令和2年度の決算及び令和3年度の事業執行状況に照らし、新たな事業計画を策定する必要がある。

⑥(経営状況(法人全体)について)

・法人全体としては、当期活動増減差額を7%以上確保できている(9.9%)

⑦(経営状況(本部拠点区分)について)

・特別な業務の変更以外大きな変動はない(2019年度=50周年記念事業 2020年度=経営計画策定業務)

⑧(その他(特筆すべき事項))

・地域貢献事業「行こう-」の実施 (マキノ北地区の高齢者を対象に、法人車両を活用し日中の移動支援を行った)  
実施時期を4月から予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため8月からの実施となった。また、ボランティア団体との協働ができなかった。  
・新型コロナウイルス対策の実施 (理事会を開催しない旨の旨の旨、開催場所の変更7回)(各事業所への対応指示文書発出)

# 求める福祉がここにある 地域とともに 福祉を創る たがひ会

## 1: 目指す姿 どのような法人を目指すのか。

令和2年度に策定した「第1期中期経営計画」に基づき、法人本部を中心とした法人体制の構築を目指すスタート①の年度+

### ①法人本部事務局体制の充実

- ・ 法人本部の機能充実に向けて具体的に取り組む（令和4年4月1日から 新体制の法人事務局の発足に向けて）  
（事務所位置・人員配置・会計事務の整理・各種規程の整理他）
- ・ 令和4年4月の新法人事務局設置への体制整備  
（課題の解決に向けた対応）

目標 R3年9月 完了  
目標 R4年3月 完了

### ②職員体制の再構築

- ・ 法人全体の適正な人員配置を検討する
  - ・ 事業所ごとの人員の再検証
  - ・ 法人全体での人員配置の再検証
- 事業量に見合う人員配置の再検証  
法人本部事務局の兼務職員の専属化、施設長・次長・主任クラスの職務分担の見直し

目標 R3年9月 完了  
目標 R4年3月 完了

### ③財政基盤の強化

- ・ 経営の安定化を図る（サービスの質の向上、地域福祉推進に寄与、働きやすい職場作り等達成のために）  
法人全体で、当期活動増減差額を7%以上確保する  
（法人全体当期活動増減差額／法人全体サービス活動収益）
- ・ 各事業所[2021年経営計画]を参照
- ・ 社会福祉充実計画の適正な執行（計画最終年度）  
高齢・重点対応型生活介護施設新築工事の実施

目標 当期活動増減差7%以上  
目標 R4年3月 策定

### ④経営理念の浸透

- ・ 全役職員が理念・倫理綱領のもと行動する
- ・ 各事業所で朝礼時「たがひ会理念」を唱和する
- ・ 理事会の開催時「たがひ会理念」を唱和する

目標 R3年4月 から  
目標 R3年4月 から

### ⑤効率的・効果的な事務規律の確立

- ・ 法人全体としての事務処理の統一とコスト意識の醸成を図る
- ・ 【事務処理の手引き】、【契約事務の手引き】の作成
- ・ 経営計画のホローアップ事務（資金計画の見直し）

目標 R3年9月 完了  
目標 R4年3月 完了

### ⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- ・ 職員募集の法人一元化
  - ・ 採用計画の作成と募集戦略の検討（インターネットの効果的な活用他）
  - ・ （再招）事業所ごとの人員の再検証
  - ・ （再招）法人全体での人員配置の再検証
- 事業量に見合う人員配置の再検証  
法人本部事務局の兼務職員の専属化、施設長・次長・主任クラスの職務分担の見直し
- ・ 人材育成
  - ・ 職員研修計画の策定
  - ・ 研修体系の整理と資格取得計画等の作成
- 経営計画の見える化
- ・ ロゴマークの作成
  - ・ 経営計画の策定を契機にロゴマークを作成する

目標 R3年9月 完了  
目標 R3年9月 完了  
目標 R4年3月 完了  
目標 R3年9月 完了  
目標 R3年9月 完了

### ⑦情報収集の強化

- ・ 外部要因の収集
- ・ 経営計画のフォローアップ

通年

### ⑧サービスの質の向上

- ・ 各事業所に、サービスの質の向上を推進

サービスの質の向上の取りまとめ

通年

当年度活動方針と  
事業の進め方

<p><b>⑩安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底</li> <li>・ 法人全体の事故件数の取りまとめと評価</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年	通年					
通年								
通年								
<p><b>⑪老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所に、連携強化を要請</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年						
通年								
<p><b>⑫地域における公益的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会貢献事業「行こカー」の評価と充実</li> <li>・ 地域福祉ニーズ調査</li> </ul> <p>事業成果の評価と充実を図る(ボランティア活動等の連携強化) 地域課題を整理し、社会福祉法人として取り組むべき方策を検討</p>	<table border="1"> <tr><td>目標</td></tr> <tr><td>R4年3月</td></tr> <tr><td>完了</td></tr> </table>	目標	R4年3月	完了				
目標								
R4年3月								
完了								
<p><b>⑬魅力ある職場環境の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の安全と健康の確保</li> <li>・ 職員の処遇の改善</li> <li>・ 有給休暇取得の促進</li> <li>・ 時間外労働の削減</li> <li>・ 良好な人間環境を維持する組織風土の醸成</li> <li>・ 定年延長制度の検討</li> </ul> <p>ハラスメント防止対策職員研修会 職員人材育成・処遇改善事業の継続実施(社会福祉充実計画事業) 有給取得状況調査と評価(取得率) 実施状況の把握と評価 職員朝礼会への補助 全職員を対象とした永年勤続表彰の実施</p>	<table border="1"> <tr><td>目標</td></tr> <tr><td>1回</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> </table>	目標	1回	通年	通年	通年	通年	通年
目標								
1回								
通年								
通年								
通年								
通年								
通年								
<p><b>⑭法人のブランド化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所に、ブランド化を推進</li> </ul> <p>ブランド化の取りまとめ</p>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年						
通年								
<p><b>⑮広報活動の充実(情報発信の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【ホームページ管理委員会】機能の活性化</li> </ul> <p>広報活動の充実と情報発信の強化</p>	<table border="1"> <tr><td>目標</td></tr> <tr><td>R3年9月</td></tr> <tr><td>完了</td></tr> </table>	目標	R3年9月	完了				
目標								
R3年9月								
完了								
<p><b>⑯先進的な技術やITの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワークの構築(法人本部の充実に向けての環境整備)</li> <li>・ 各事業所に、先進的な技術やITの取り組みを推進</li> </ul> <p>必要経費 1,500,000 円</p>	<table border="1"> <tr><td>目標</td></tr> <tr><td>R4年4月</td></tr> <tr><td>完了</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> </table>	目標	R4年4月	完了	通年			
目標								
R4年4月								
完了								
通年								

当年度活動方針と  
事業の進め方

## 2: 法人本部本来事務(2021年度は従来の兼務体制で実施)

<p>① 諸規定に関すること : 基本規程(定款等)、業務運営規程(就業規則等)の適正な適用と、改正</p>	<p>通年</p>
<p>② 理事会および評議員会に関すること : 役員、評議員に関する事務処理 ・ 理事、監事、評議員の任期満了年度 ・ 理事、監事、評議員の選任 : 理事会、評議員会に関する事務処理 ・ 理事会(理事協議会)、評議員会の適正な運営 ・ 役員研修の充実</p>	<p>目標 R3年6月 完了 通年 通年</p>
<p>③ その他の会議に関すること : 第三者委員会に関する事務処理 ・ 第三者委員の任期満了年度 ・ 第三者委員会議の充実 : 評議員選任解任委員会に関する事務処理 ・ 委員会の適正な運営</p>	<p>令和3年5月31日をもって任期満了 目標 R3年5月 完了 通年 目標 R3年5月 開催 評議員の任期満了に伴う評議員選任業務</p>
<p>④ 人事管理に関すること : 職員の進退身分に関する適正な事務執行</p>	<p>通年</p>
<p>⑤ 労務管理に関すること : 職員の給与、福利厚生・人材育成等労務管理に関する適正な事務執行</p>	<p>通年</p>
<p>⑥ 財務管理に関すること : 法人の財産取得、処分、登記、予算決算、資金調達等に関する適正な事務執行</p>	<p>通年</p>



# 1:目指す姿 どのような事業所を目指すのか。

## 尊厳のある生活の場と経営の安定を目指して

### ①法人事務局体制の充実

: 法人本部の方針に準じ、連携して実施

### ②職員体制の再構築

: 法人本部の方針に準じ、連携して実施

### ③財政基盤の強化(特定施設の健全経営)

: 入居者および特定施設利用者の確保

- ・ 新規入居者の確保

近隣市町村に対する空き情報の発信と関係強化

年平均入居者

目標  人

- ・ 介護認定の早期申請と入居時の病状等の確認および介護方針の協議

年平均介護保険利用者

目標  人

### ④経営理念の浸透

: 法人本部の方針に準じ、連携して実施

### ⑤効率的・効果的な事務規律の確立

: 法人本部の方針に準じ、連携して実施

### ⑥トータルな人材マネジメントの整備

: 常に入居者の立場にたった良質で適切なサービスが継続的に提供できるよう、職員の質の向上を目指す。  
(人材育成)

: 職員のスキルアップ(適正な介護技術の習得)

- ・ 職員研修

目標  人

: 職員のスキルアップ(虐待防止に向けた取組み)

- ・ 職員研修

目標  人

: 職員の資格取得に向けての支援

- ・ 支援予定人数

介護福祉士・介護支援専門員 各1

目標  人

: 法人本部の方針に準じ、連携して実施

### ⑦情報の収集体制の強化

: 関係機関との連携強化

当年度活動方針と  
事業の進め方

**⑧サービスの質の向上**

； 常に入居者の立場にたった良質で適正なサービスが継続的に提供できるよう、職員の質の向上を目指し(再掲)

〈人材育成〉

：職員のスキルアップ(適正な介護技術の習得)

・ 職員研修

：職員のスキルアップ(虐待防止に向けた取組み)

・ 職員研修

：職員の資格取得に向けての支援

・ 支援予定人数

介護福祉士・介護支援専門員 各1

目標  人

目標  人

目標  人

**⑨安全で衛生的かつ快適な環境の整備**

： 防災マニュアルおよび感染症対策マニュアルの見直し

**⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)**

・ 事業所間でアイデアを出し合い、併設の強味を活かせる事業を検討する。藤の樹工房および藤美寮と協議

**⑪地域における公益的な取り組み(共生社会を見据えた取り組み)**

・ 利益追求のための定員確保を目指すのではなく、緊急避難的に養護老人ホームを必要とする方のための受け皿として事業運営を行う。

**⑫魅力ある職場環境の構築**

： 法人本部の方針に準じ、連携して実施

**⑬法人のブランド化**

・ 養護老人ホームの意義および必要性を県内市町に対し発信する。

施設の無い自治体での措置が極端に少ないことから、県内の養護老人ホームに働きかけ、共同で施設の無い自治体に周知を図る

**⑭広報活動の充実**

： 積極的な広報活動やボランティアの受入れ

**⑮先進的な技術やITの取り組み**

： 法人本部の方針に準じ、連携して実施

： 新しく導入した介護保険ソフトを活用した入居者の健康管理

# 令和3年度(2021年度) 事業計画

事業所 陽だまり

## ①契約者数及び利用実績

	平均契約者数(人)		利用実績		職員数(人)	
	2018年	2019年	所要日数(日)	延利用時数(人)	2018年	2019年
2018年	20	20.8	365	7,503	19	
2019年			365	7,555	18	
2020年		17	366	7,400	17	

### ●介護給付費

	給付費(円)
2018年	45,369,700
2019年	44,898,396
2020年	42,000,000

### ●利用実績内訳

	通いサービス	宿泊サービス	訪問サービス
2018年	3,320	563	3,620
2019年	3,593	461	3,511
2020年	3,136	262	3,896

年度末時点

## ①(契約者数・利用実績について)

・新規契約もあったが入院者および施設への移行者もあり、契約者数が伸び悩んだ。  
・利用者に長く利用してもらおうには軽度者の利用者確保もしていく必要がある(要支援の方)

## ②(経営状況について)

・資金収支上では黒字であるが、事業活動収支では減価償却が計上されるため赤字に転じる。さらなる新規利用者の確保が必要となる。

## ③生活支援

・行政からの要請を受け、4月の緊急事態宣言下では、利用自費および臨時利用を実施した。緊急事態宣言後は施設内での活動に絞り、感染対策を行いながら行事を実施。

## ④環境整備

・新型コロナウイルスへの各種対策を迅速に行った(アクリル板設置・検温・マスクの徹底・消毒)

## ⑤施設整備

・感染対策として補助金を活用し空間除菌脱臭機を新規購入。

## ⑥その他(特筆すべき事項)

・地域貢献の一環として、コロナ禍ではあったが、美化活動を定期的に行った。

## ②経営状況

事業総額(円)			
	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額
2018年	54,435,293	43,669,515	△ 3,469,432
2019年	53,634,990	43,024,630	△ 3,689,548
2020年	48,450,000	42,000,000	△ 7,150,000
			△ 13,117,838
			△ 3,745,531
			△ 7,200,000

前年度実績及び評価  
(2020年度最終見込)



# 利用してよかったと思える地域の拠点事業所になろう

## 1: 目指す姿 どのような事業所を目指すのか。

<p>①法人本部事務局体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新体制の法人本部事務局の設置に向けて事業所体制を見直しいく</li> </ul>	<p>目標 通年</p>					
<p>②職員体制の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正な人員配置に向けて、本部事務局と連携して人員検証を図る</li> <li>・ 法人体制の職務分掌と連動して、事業所における業務分掌の見直しを図る</li> </ul>	<p>目標 通年</p>					
<p>③財政基盤の強化(経営数値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規利用者確保による経営基盤の安定化を目指す</li> <li>・ 近隣地域の利用者への啓蒙、声掛け(パンフレット配布)</li> </ul>	<p>利用者目標 20 人 目標 通年</p>					
<p>④経営理念の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員がたかしま会理念を理解し、朝礼時に「たかしま会理念」を唱和する</li> </ul>	<p>目標 通年 月1回</p>					
<p>⑤効率的・効果的な事務規律の確立</p> <p>法人の事務処理の統一化と合わせ、適正な事務処理を行う</p>	<p>目標 通年</p>					
<p>⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実</p> <p>(人材育成)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員のスキルアップ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員研修 (全体研修)</li> <li>・ 認知症理解、高齢者虐待、感染症、リスクマネジメント、人権(法定研修を含め)の実施 (OM更新、認知症実践者、計画作成者研修)</li> </ul> </li> <li>2) 職員の資格取得に向けての支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援予定人数</li> </ul> </li> </ol>	<p>目標 全職員 人 目標 1 人</p>					
<p>⑦情報収集体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の事業所との連携を強化</li> </ul>	<p>目標 4 回/年</p>					
<p>⑧サービスの質の向上</p> <p>(利用者への支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅サービス計画書および小規模多機能型居宅介護サービス計画書の作成(定期見直し)</li> <li>・ 虐待防止への取り組み(高島市主催の各種研修への参加、チェックリストを活用)</li> <li>・ 施設行事の見直し</li> <li>・ 機能回復訓練等の実施</li> <li>・ 体験利用の受け入れ(無料)</li> </ul> <p>屋外での活動を増やすなど、コロナ禍でも利用者も利用者が楽しめる内容を工夫する ラジオ体操に限らず、「高島あしたの体操」など運動メニューを取り入れ、ADLの維持・向上を図る 体験利用(無料)を提案し、施設を知ってもらう</p>	<table border="1"> <tr> <td>1~2 回/年</td> </tr> <tr> <td>数 回/年</td> </tr> <tr> <td>1 回/月</td> </tr> <tr> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>随時</td> </tr> </table>	1~2 回/年	数 回/年	1 回/月	毎日	随時
1~2 回/年						
数 回/年						
1 回/月						
毎日						
随時						
<p>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災マニュアル・防犯マニュアルの見直し</li> <li>・ 避難訓練の実施</li> </ul> <p>既存のマニュアルを見直し、職員や利用者へ周知徹底を図る 避難訓練、消火訓練を地区の方を交えて実施する</p>	<p>目標 2 回/年</p>					
<p>⑩老人福祉施設と障害者福祉施設の併設の強みを活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢、障害者相談機能の充実</li> </ul> <p>たかしま会のサービス利用の高齢、障害者相談機能を持つ</p>	<p>目標 通年</p>					

当年度活動方針と事業の進め方

<p><b>⑪地域における公益的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域会議への参加・協力</li> <li>・ 地区の清掃活動参加</li> <li>・ 地域美化活動</li> <li>・ 第三者委員会等への情報提供</li> </ul> <p>地区の要請に応じて職員が参加する 地区の清掃活動に職員が出演する 4月～10月の期間で毎月美化活動を実施する 苦情案件はもちろん業務遂行上の課題を提出しサービスの向上に努める</p>	<table border="1"> <tr> <td>要請時</td> <td>回/年</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>回/年</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>回/年</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>回/年</td> </tr> </table>	要請時	回/年	2	回/年	7	回/年	2	回/年	
要請時	回/年									
2	回/年									
7	回/年									
2	回/年									
<p><b>⑫魅力ある職場環境の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の指針に基づき、安全な職場環境の整備を行う。</li> </ul>	<p>目標 通年</p>									
<p><b>⑬法人のブランド化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家製野菜のメニュー作り</li> </ul>	<p>随時</p>									
<p><b>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページや広報誌の内容の充実</li> <li>・ パンフレットの配置</li> </ul>	<p>新鮮、安全をモットーに昼食に自家製野菜を使っていることをアピールする</p> <p>法人本部と連携しホームページや広報誌の充実を図る</p> <p>病院、地域包括支援センターへの配布および市ヶ崎、浜分、金融機関などに設置をお願いする</p> <table border="1"> <tr> <td>広報誌</td> <td>3</td> <td>回/年</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>随時</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td></td> <td>随時</td> <td>随時</td> </tr> </table>	広報誌	3	回/年	ホームページ	随時	随時		随時	随時
広報誌	3	回/年								
ホームページ	随時	随時								
	随時	随時								
<p><b>⑮先進的な技術やITの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者会議の効率化</li> <li>・ 会議の運営</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスへの対応としても担当者会議のIT化 感染対策として各種会議への参加をZOOM等WEBにて参加する</p> <p>通年</p>									

当年度活動方針と事業の進め方

令和3年度(2021年度)事業計画書

①契約者数及び利用実績

●契約者数

施設入所支援

	定員	契約解除者	新規契約者数	今年度契約者数	摘要
2018年	46人	1人	0人	45人	男性25人 女性20人
2019年	46人	3人	4人	46人	男性20人 女性20人
2020年	46人	3人	3人	46人	男性27人 女性19人
生活介護					
	定員	契約解除者	新規契約者数	今年度契約者数	摘要
2018年	50人	2人	0人	52人	入所者46人 通所者6人
2019年	50人	2人	5人	55人	入所者46人 通所者9人
2020年	50人	2人	3人	56人	入所者46人 通所者10人

●障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
2018年	0人	0人	0人	2人	11人	32人	45人	5.67
2019年	0人	0人	0人	5人	12人	29人	46人	5.52
2020年	0人	0人	0人	3人	12人	31人	46人	5.61

●利用実績

【施設入所支援】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年	延べ利用者数 1,364	1,410	1,405	1,416	1,353	1,355	1,378	1,377	1,388	1,378	1,263	1,341	16,428人
	平均利用者数 45.4	45.4	46.8	45.6	43.6	45.1	44.4	45.9	44.7	44.4	45.1	43.2	45.0人/日
2019年	延べ利用者数 1,336	1,418	1,364	1,420	1,344	1,330	1,341	1,361	1,383	1,379	1,318	1,371	16,365人
	平均利用者数 45.5	45.8	45.5	45.7	43.7	45.2	44.5	45.9	44.8	44.5	45.2	43.3	44.9人/日
2020年	延べ利用者数 1,363	1,407	1,367	1,389	1,390	1,363	1,426	1,380	1,418	1,418	1,288	1,426	16,635人
	平均利用者数 45.5	45.4	45.6	44.9	44.9	45.5	46.0	46.0	45.8	45.8	45.7	46.0	45.6人/日

【生活介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269日
	延べ利用者数 1,140	1,195	1,173	1,220	1,168	1,105	1,164	1,143	1,190	1,176	1,011	1,169	13,854人
	平均利用者数 51.8	51.9	53.3	53.0	50.8	50.2	50.6	51.9	51.7	51.1	50.5	50.8	51.5人/日
2019年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270日
	延べ利用者数 1,087	1,171	1,118	1,202	1,152	1,096	1,129	1,151	1,195	1,201	1,095	1,166	13,763人
	平均利用者数 49.5	51.0	50.9	52.3	50.1	49.9	49.1	52.4	52.0	52.3	52.2	50.7	51.0人/日
2020年	開所日 22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269日
	延べ利用者数 1,169	1,145	1,174	1,198	1,173	1,139	1,243	1,170	1,215	1,215	1,060	1,219	14,120人
	平均利用者数 53.2	49.8	53.4	52.1	51.0	51.8	54.1	53.2	52.9	52.9	53.0	53.0	52.5人/日

【短期入所】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	117	112	106	107	114	152	138	147	127	113	107	158	1,498人
平均利用者数	3.9	3.7	3.6	3.5	3.7	5.1	4.5	4.9	4.1	3.7	3.9	5.1	4.1人/日
延べ利用者数	130	115	136	146	132	156	137	175	126	133	148	166	1,700人
平均利用者数	4.4	3.8	4.6	4.8	4.3	5.2	4.5	5.9	4.1	4.3	5.2	5.4	4.7人/日
延べ利用者数	151	140	129	139	115	115	153	132	134	134	134	134	1,610人
平均利用者数	5.1	4.6	4.3	4.5	3.8	3.9	5.0	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4人/日

【日中一時】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	128	134	118	153	120	121	111	98	108	72	65	105	1,333人
平均利用者数	4.3	4.4	4.0	5.0	3.9	4.1	3.6	3.3	3.5	2.4	2.4	3.4	3.7人/日
延べ利用者数	123	121	132	145	129	129	124	127	108	110	114	127	1,489人
平均利用者数	4.1	4.0	4.4	4.7	4.2	4.3	4.0	4.3	3.5	3.6	4.0	4.1	4.1人/日
延べ利用者数	110	108	127	128	107	121	104	92	97	110	110	110	1,324人
平均利用者数	3.7	3.5	4.3	4.2	3.5	4.1	3.4	3.1	3.2	3.6	3.6	3.6	3.6人/日

前年度実績及び評価  
(2020年度最終算出)

②経営状況

	施設入所支援事業総額 (円)			生活介護支援事業総額 (円)		
	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額
2018年	118,720,194	67,494,126	19,912,038	187,323,827	113,658,682	35,746,766
2019年	116,424,789	68,330,810	17,295,950	181,558,478	114,699,449	30,511,365
2020年	119,427,501	69,393,536	20,336,491	192,242,217	116,602,166	41,423,448

	短期入所支援事業総額 (円)			日中一時支援事業総額 (円)		
	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額
2018年	12,117,374	6,031,365	3,844,248	4,400,544	2,558,759	1,198,714
2019年	13,910,976	6,183,724	5,565,661	4,711,430	2,623,400	1,468,270
2020年	13,092,622	6,255,163	4,772,160	3,935,065	2,653,705	683,986

<p><b>①契約者数・利用実績について</b></p> <p>【施設入所支援】・入所施設の待機者の確保が必要。</p> <p>【生活介護】・在宅からの新規利用者がいない状況のため新たな利用者確保が必要。</p> <p>【短期入所】・障がい者の在宅生活の継続のため、サービスの周知を図る必要がある。</p> <p>【日中一時支援】・市内に同サービス事業所が増えたことにより、利用者数は減少している。しかし、短期入所機能の周知を図ることによって差別化を図り、利用につなげる必要がある。</p>	
<p><b>②経営状況について</b></p> <p>【施設入所支援】・長期利用者確保することで入所施設の補充をスムーズにし、収入の安定につなげる必要がある。</p> <p>【生活介護】・新規事業開始に伴い、利用者の確保が必要である。</p> <p>【短期入所】・コロナの影響により利用実績が減少したため、昨年よりは減収となった。安定した経営のため利用者確保し利用日数を増やす必要がある。</p> <p>【日中一時支援】・コロナの利用控えや市内のサービスの充足に伴い、利用実績の減少により減収が見込まれる。新規利用者の確保により経営の安定を図る。</p>	
<p><b>③支援状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症化・高齢化が進み、支援度が高くなってきている。</li> </ul>	<p><b>③支援状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修は、コロナの影響で十分できなかったが、WEB研修等を活用し実施する必要がある。</li> <li>・利用者の支援度が上がったことにより業務量が増加しているため、より専門性の習得とチーム力が必要である。</li> </ul>
<p><b>④環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策として、職員にサーージカルマスクを配布し、感染症の拡大防止に努めた。</li> <li>・利用者や保護者に帰省の自粛協力を促し、面会についても時間の制限を実施した。</li> <li>・コロナが施設に入ったことを想定して、感染症マニュアルの作成と研修及び備品の確保をした。</li> </ul>	<p><b>④環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのコロナ感染症の状況を踏まえながら職員一人ひとりの意識を高め、適切に対応していく。</li> <li>・コロナ禍の中、リモートでの面会ができる環境を整えていく必要がある。</li> </ul>
<p><b>⑤施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機施設や廊下の仕切り、ウッドデッキスペースを活用して、感染症の対応はもちろん、普段の利用者の住み分けを図った。</li> <li>・経年劣化により機能が低下した、エアコンを始めとする設備の修繕や買い替えをその都度行ってきた。</li> <li>・建物修繕箇所について、業者と取り組んだ。</li> </ul>	<p><b>⑤施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機施設や廊下の仕切りなどを有効活用し、安全な生活の提供を図る。</li> <li>・建物修繕箇所については、解決できていないところを早期解決を必要とする。</li> </ul>
<p><b>⑥その他(施設整備等特筆すべき事項)</b></p>	<p><b>⑥その他(施設整備等特筆すべき事項)</b></p>

# 1:目指す姿

## 入所施設の強みを活かし、利用者や地域で暮らす方一人ひとりの豊かな生活の実現に向けて事業を展開していく

### ①法人本部事務局体制の充実

- :法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組む。
- ・法人本部との連携強化

目標 R3年4月 から

### ②職員体制の再構築

- :法人全体の適正な人員配置を検討する。
- ・法人本部との連携強化

目標 R3年4月 から

### ③財政基盤の強化(経営数値)

- :新規利用者の確保による障害福祉サービス等事業収入の増額を目指す。
- ・生活介護通所者の新規利用者の確保(養護学校や相談事業と連携をし新規利用者の確保と地域へのアウトリーチ)
- ・短期入所や日中一時の新規利用者確保(養護学校・訪問看護ステーション等の連携による市内利用者の掘り起しをし、要約人数を増やしていく)
- ・短期入所の長期利用者の確保

目標 3 人

目標 各3 人

目標 2 人

(新規事業等)

20 人

### ④経営理念の明確化

- :生活介護定員増に向けた取り組み
- ・高齢・重点対応型事業に向けた人材確保と体制整備

(新規事業等)

8 人

R4年3月 完了

当年度活動方針と  
事業の進め方

### ⑤効果的・効果的な事務規律の確立

- :全職員が理念・基本方針のもと行動する。
- ・法人本部との連携強化
- ・職員朝礼等で理念の唱和をする

目標 R3年4月 から

目標 R3年4月 から

### ⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

- ・事業所内の事務の見直しと担当割の検討・実施

目標 R3年9月 完了

#### 【人材育成】

:職員のスキルアップ

- ・発達障害支援者養成研修に職員を派遣
- ・滋賀県発達支援センターからコンサルテーションの導入により支援力の向上
- ・高齢障がい者に対する支援力の向上
- ・職員意識改革に向けた研修の実施

目標 5 人/年

目標 3 回/年

目標 通年

目標 2 回/年

:権利擁護意識の強化

- ・講師による内部研修と外部研修の受講を計画的に実施
- ・「虐待の芽チェックリスト」等虐待防止に対する取り組みの見直しと更なる意識の向上

目標各職員 1 回/年 以上

目標 全職員

:職員の資格取得に向けての支援

- ・資格取得に向けたサポート体制(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネ等)

目標 通年

:リーダーの養成。

- ・専門知識の指導者の育成(専門的な取り組みをしている事業所に派遣し技術の習得)

目標 2 人

**⑦情報収集の強化**  
 :新たな事業の立上げに向けた対象利用者の発掘と潜在的なニーズと課題の把握  
 ・他機関との連携強化(高島市役所・市内の相談事業所・働き寄り応援センター・養護学校・医療機関・訪問看護ステーション等)

目標	R3年8月	完了
	通年	

**⑧サービスの質の向上**  
 :意思決定支援の強化

- ・利用者の個別化支援の提供(状態・ニーズに基づき、専門性を活かした支援)
  - ・利用者個々の身体の状況に応じた日中活動の提供(日常生活動作の維持・向上)
- 権利擁護の取り組み強化
- ・虐待防止委員会の強化
  - ・利用者のプライバシー、個人情報保護、信頼性の高いサービスの提供
- 生きがい・やりがいの意識の向上(利用者向け)
- ・活動時間の確保と内容の充実
  - ・自主製品(利用者の作品の商品化)のブランド化に向けた検討
  - ・利用者の社会参加の促進(コロナ禍の状況を踏まえ、実施内容の検討と実施)

目標	通年	
	通年	
第三者委員会	2	回/年
会議	6	回/年
目標	通年	

マキノ町内の清掃とエコオアスター区間清掃管理等

:医療との連携

- ・嘱託医、協力病院等との連携強化
- ・高齢・重症対応型事業に伴う医療職の充実

:第三者評価の受審

目標	R3年度	完了
	R3年度	完了
	R4年3月	完了

※地域移行に向けた取り組み  
 ・高島市障がい福祉計画(第6期)に令和5年度末時点で施設入所者の6%以上が地域生活に移行することを設定しているため、現在の入所者の中で地域移行に向けて取り組む

目標	3	名
----	---	---

※令和5年度末目標

**⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備**

- ・衛生的な環境と感染予防対策(新型コロナウイルス等)の徹底
- ・あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)
- ・消防訓練・不審者対応訓練等の実施
- ・マキノ駅西自治会との協力体制の強化(年1回防災訓練等の実施)
- ・既存のマニユアルの見直しと職員や利用者へ周知の徹底
- ・災害時、福祉避難所運営に向けた取り組みと運営マニユアルの見直し(福祉避難所への被災者受け入れを想定した訓練の実施)
- ・宅地造成に関する指摘事項である切土法面及びコア抜き工事の実施
- ・BCP(事業継続計画)の作成

目標	通年	
	通年	
	3	回/年
目標	R3年10月	完了
目標	R3年9月	完了
目標	R3年6月	完了
目標	R4年3月	完了
目標	R4年3月	完了

**⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)**

- ・藤波園入所対象者の選定と移行に向けての取り組み
- ・高齢知的障がい者の現状と課題を行政に伝え改善に向けての働きかけ
- ・藤波園の利用者に陶芸教室の誘い

目標	R4年3月	
	通年	
目標	R3年5月	から開始

当年度活動方針と事業の進め方

<p><b>⑪地域における公益的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸教室の開催(地域の方やグループホームの利用者、その他法人事業所の利用者を対象)</li> <li>・本部との連携のもと、「行こカー」事業を見直し、利用者の拡大と使いやすいシステムに調整</li> <li>・法人本部との連携のもと、地域福祉ニーズ調査の実施</li> <li>・地域生活宿泊体験支援事業の場の提供</li> </ul>	<p>目標 R3年5月 から開始</p> <p>目標 R3年4月</p> <p>通年</p> <p>通年</p>
<p><b>⑫魅力ある職場環境の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部との連携強化</li> </ul>	<p>通年</p>
<p><b>⑬法人のブランド化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い事業所</li> <li>・自主製成品(利用者作品等)のブランド化</li> </ul>	<p>通年</p> <p>通年</p>
<p><b>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、ホームページの更新をし、事業所の取り組み等の発信</li> <li>・事業所のパンフレットの再制作</li> <li>・ボランティア募集の仕組みの見直しと運用</li> <li>・中学生向けのボランティア活動の啓発</li> <li>・ロゴマークを職員の名刺や郵便物等の封筒に使用</li> </ul>	<p>通年</p> <p>目標 R3年8月 完了</p> <p>目標 R3年9月 完了</p> <p>目標 R3年9月 完了</p> <p>目標 R3年10月 完了</p>
<p><b>⑮先進的な技術やITの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、帰省の自粛や面会制限のあることから、施設での生活を伝える手段を工夫する</li> <li>・コロナ禍の中、外部研修受講に向けて、WEB環境の整備</li> </ul>	<p>通年</p> <p>通年</p>

当年度活動方針と  
事業の進め方



# 令和3年度(2021年度) 事業計画書

事業所 藤美相談支援事業所

## ①契約者数及び利用実績

契約者数(人)	実績	
	計画数(件)	モニタリング数
2018年	76	139
2019年	71	196
2020年	45	278

## ②障害福祉サービス等事業収入

	計画相談支援給付収入(円)
2018年	2,888,994
2019年	3,813,028
2020年	5,610,000

## 職員数(人)

2018年	相談員(専従)1.0、(兼務)0.1、所長(兼務)1.0
2019年	相談員(専従)1.0、(兼務)0.1、所長(兼務)1.0
2020年	相談員(専従)1.0、(兼務)0.1、所長(兼務)1.0

## ③経営状況

	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額
2018年	2,888,994	3,872,559	-1,283,411	271,536
2019年	3,813,028	8,031,065	-4,410,960	851,175
2020年	5,610,000	5,255,000	-400,000	0

前年度実績及び計画  
(2020年度最終見込)

## ①<契約者数・利用実績について>

- 本人の状態に合わせて、評価したことが利用実績につながり、継続する必要がある。
- 市内にはセルプログラムの人が多いことから、新規利用者の確保につながる可能性がある。

## ②<計画相談支援給付費について>

- 取れる加算を増やし、独立採算にする必要がある。

## ③<経営状況について>

- モニタリングの頻度を更にも上げることで、増収につながる可能性がある。
- 報酬に結びつかない相談が多かったため、今後基幹相談支援センターと役割分担をする必要がある。

## ④支援等について

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、9月頃までは、自宅訪問を控え電話やメール等で相談業務を行った。
- 新型コロナウイルス感染への不安から体調を崩す人が多く、報酬に上がらない相談が多かった。

## ⑤環境整備

- 報酬請求ソフト導入のパソコンを1台増設したことで、業務の効率が上がった。
- 事務職員を配置したことで、郵便物の発送、ファイルの管理、請求業務を任せ、本来の相談業務に専念できた。
- 新型コロナウイルス感染予防対策から、相談事業所用の部屋を別室に設けたことで、個人情報保護され、効率よく業務が行えた。

## ④支援等について

- 今後も利用者の状態を把握し計画を作成していく必要がある。

## ⑤環境整備

- 新型コロナウイルスへの各種対策を迅速に行っていく必要がある。(面談時の仕切り・検温・マスクの徹底・消毒等)
- コロナ禍の中、ZOOMなどを活用し、相談業務が効率的に遂行できる工夫が必要である。

## ⑥その他(特筆すべき事項)

- ※などが一人仕事であるため、職員のメンタルケアをしていく必要がある。

1: 目指す姿

他の事業所との連携のもと、本人が望む生活が継続できるように、計画や調整を行う

①法人本部事務局体制の充実

: 法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組む

- ・法人本部との連携強化

目標 R3年4月 から

②職員体制の再構築

: 法人全体の適正な人員配置の検討

- ・法人本部との連携強化
- ・専従と兼務との人員配置と業務の検証

目標 R3年4月 から  
目標 R3年4月 から

③財政基盤の強化(経営数値)

: 経営の安定を図る

- ・ 更なる加算の取得により収支の黒字化
- ・ セルフプランの人等、新規利用契約者の確保
- ・ 単独採算できるよう行政に訴える

目標 通年  
5 人/年  
通年

④経営理念の明確化

: 全職員が理念・基本方針のもと行動する

- ・法人本部との連携強化
- ・職員朝礼等で理念の唱和
- ・効果的・効果的な事務規律の確立
- ・業務の整理と適切な役割分担

目標 R3年4月 から  
目標 R3年4月 から  
通年

⑤トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

(人材育成)

- ・事業の継続に必要な体制づくり(相談支援専門員研修)
- ・スキルアップのため各種研修への参加

目標 3 人/年  
目標 1 人/年

⑦情報収集体制の強化

- ・多職種連携の強化
- ・他事業所の相談員や行政等の関係機関と連携の強化

通年  
通年

⑧サービスの質の向上

: 本人に合ったプラン作成

- ・本人に必要なサービスを見極めプランに落とし
- ・関係機関との連携の強化

通年  
通年

⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備

- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定外への取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)
- ・避難行動要支援者に対する災害時の相談業務の強化

通年  
通年  
通年

<p>⑩ 老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人の各事業所との連携</li> </ul> <p>⑪ 地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤美寮と連携のもと取り組み</li> </ul> <p>⑫ 魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人本部との連携強化</li> </ul> <p>⑬ 法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人内事業所との連携の充実</li> <li>たかしま会で採用されたロゴマークを名刺や郵便物の封筒に印刷し、法人・事業所のアピール</li> </ul> <p>⑭ 広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを活用し情報の発信</li> <li>パンフレットの作成</li> </ul> <p>⑮ 先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率を上げるためZOOMなどの活用</li> </ul>	<p>通年</p>
<p>通年</p>	<p>10 月</p>
<p>目標 1 回/月</p>	<p>目標 8 月完成</p>
<p>通年</p>	<p>通年</p>
<p>当年度活動方針と 事業の進め方</p>	

# 令和3年度(2021年度) 事業計画

## 事業所 グループホーム

### ① 契約者数及び利用実績

契約者数(人)	利用実績		職員数(人)	
	所定日数(日)	延利用日数(人)	2018年	2019年
2018年	365	8,298	19	
2019年	365	8,196	19	
2020年	366	8,251	20	

### ② 訓練等給付費

訓練等給付費 (円)	
2018年	52,783,403
2019年	53,888,357
2020年	54,411,464

### ③ 経営状況

共同生活援助事業総額(円)		サービス活動助成金(円)		当期活動助成金総額	
サービス活動収益	人員費	サービス活動助成金	サービス活動助成金	サービス活動助成金	サービス活動助成金
66,725,222	38,439,180	10,959,430	10,959,430	12,254,977	12,254,977
67,663,420	40,908,795	10,559,987	10,559,987	10,945,500	10,945,500
70,788,036	40,940,883	11,076,775	11,076,775	11,078,732	11,078,732

### ④ 生活支援

- ・一泊旅行を計画していたが、コロナの影響で中止した。毎年恒例の外食はバーベキューに、クリスマス会はホテルの会場での実施に替え、感染に配慮しながら楽しむ機会を提供した。
- ・各ホーム毎課題が見られた際にはキーパー会議を開催し、情報共有と利用者の支援の統一を図った。

### ⑤ 環境整備

- ・給食材料の宅配サービスを導入したことで、キーパーの負担の軽減につながった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用・手洗いの励行など予防対策を実施した。

### ⑥ 施設整備

- ・特になし

### ⑦ その他(特筆すべき事項)

### ①<契約者数・利用実績について>

- ・今年度は、入院等が無かったことにより、利用者数は例年並みに推移している。

### ②<訓練等給付費について>

- ・延べ利用者数が例年並みであることに加え、障害支援区分が上がったこととコロナの影響で障害者の自費協力を得たことで増収が見込まれる。

### ③<経営状況について>

- ・障害支援区分が上がりがり人員配置が変更となり、人件費が増額している。収支の適切なバランスを検証し、安定了した経営をする必要がある。
- ・2019年度からは、有給休暇5日付与により取得率が上がり人件費が増額している。

### ④ 生活支援

- ・コロナ禍で外出や帰省の制限があり、利用者のストレスの軽減が必要である。
- ・キーパーの障害の理解や専門知識の習得が必要である。

### ⑤ 環境整備

- ・宅配サービスを導入したことで、これまでのような利用者の希望 fulfilment を取入れる機会が増えた。2021年度は、その機会を定期的に持てるよう工夫したい。

### ⑥ 施設整備

- ・「羽ばたき」は、築15年目で外壁の塗り替え時期となり2021年度に実施する。

### ⑦ その他(施設整備等特筆すべき事項)

前年度実績及び評価  
(2020年度最終見込)

<p>1: 目指す姿</p> <p>それぞれの利用者が望む地域生活がいつまでも継続できるような体制を整える</p>	<p>①法人本部事務局体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組む</li> <li>・法人本部との連携強化</li> </ul> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>②職員体制の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:法人全体の適正な人員配置を検討する</li> <li>・法人本部との連携強化</li> </ul> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>③財政基盤の強化(経営数値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:「たつちの家」の老朽化に伴い将来的に賃借住宅から法人所有にし、定員も4名から7名に増員することで地域ニーズに応えと共に更なる経営の安定化を図る</li> <li>・「たつちの家」移転先建設予定地の選定</li> <li>:適切な人員配置</li> <li>・利用者の障害支援区分に応じた職員配置の検証</li> </ul> <p>※目標 R3年4月 から</p> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>④経営理念の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:全職員が理念・基本方針のもと行動する</li> <li>・法人本部との連携強化</li> <li>・キーパー会議等で理念を唱和する</li> </ul> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>⑤効率的・効果的な事務規律の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス管理責任者の業務の整理</li> </ul> <p>目標 R3年4月 から</p> <p>⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実</p> <p>(人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:キーパーのスキルアップ(障がい特性に配慮した支援スキルの習得)</li> <li>・ 現行の職員研修に加えて、専門性に特化した研修を実施</li> </ul> <p>(人材確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:安定した雇用</li> <li>・ キーパーの高齢化に伴い若い人の雇用の促進</li> </ul> <p>目標 1 回/年</p> <p>目標 2 人</p> <p>⑦情報収集の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーパー会議の定期開催</li> </ul> <p>目標 6 回/年</p> <p>⑧サービスの質の向上</p> <p>〈共同生活援助事業への支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:意思決定支援の充実を図る</li> <li>・ グループホームごとに余暇活動の選択</li> <li>・ グループホームごと宅配の給食材料以外に好きなメニューを食べる機会の提供</li> </ul> <p>:利用者に向けた適切なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>:重度者と中軽度者の住み分け</li> <li>・ 高齢者(70歳以上)の日中活動の場と生活の場の検討</li> <li>・ あつとホームと補館ハウスの合同支援の検討</li> </ul> <p>目標 1 回/月</p> <p>目標 1 回/月</p> <p>目標 R3年度 まで</p> <p>目標 R3年度 まで</p>
---	--

当年度活動方針と  
事業の進め方

<p>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1羽ばたき1の外壁の塗り替え工事を行い、建物の維持管理</li> <li>・ あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)</li> <li>・ 消防訓練・不審者対応訓練等の実施</li> <li>・ 防災対策の充実(防災食・発電機等)</li> <li>・ 既存のマニュアルの見直しとキーパーや利用者へ周知の徹底</li> </ul>	<p>目標 R3年度 完了</p> <p>通年</p> <p>2 回/年</p> <p>目標 R3年9月 完了</p> <p>目標 R3年9月 完了</p>
<p>⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックアップ施設との連携のもと、見学・体験の機会の提供</li> </ul>	<p>目標 R3年9月 から開始</p>
<p>⑪地域における公益的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤養寮との連携強化</li> </ul>	
<p>⑫魅力ある職場環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人本部との連携強化</li> </ul>	<p>通年</p>
<p>⑬法人のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土日の日中支援や夜間支援など充実した支援体制という強みを活かし、重度の人も地域生活ができる体制の維持</li> </ul>	<p>通年</p>
<p>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページを活用し、生活の様子を発信する</li> <li>・ グループホームのパンフレットの作成</li> </ul>	<p>目標 R3年度 まで</p> <p>目標 R3年度 まで</p>
<p>⑮先進的な技術やITの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEBサイトの活用</li> </ul>	<p>目標 R3年度 まで</p> <p>目標 R3年度 まで</p> <p>通年</p> <p>コロナ禍で障害者も自粛しているため、保護者へ生活の様子を伝え少しでも安心してもらえよう取り組む</p>

当年度活動方針と事業の進め方

# 令和3年度(2021年度) 事業計画

事業所 アンフィニ

<p><b>①契約者数及び利用実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">契約者数(人)</th> <th colspan="2">利用実績</th> <th rowspan="2">職員数(人)</th> </tr> <tr> <th>所要日数(日)</th> <th>要利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>53</td> <td>244</td> <td>3,650</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>52</td> <td>241</td> <td>3,216</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>55</td> <td>241</td> <td>2,968</td> </tr> </tbody> </table>	契約者数(人)	利用実績		職員数(人)	所要日数(日)	要利用者数(人)	2018年	53	244	3,650	2019年	52	241	3,216	2020年	55	241	2,968	<p><b>①&lt;契約者数・利用実績について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者4名の契約があったが、利用実績までは結び付かなかったため、活動内容に工夫が必要。</li> <li>・契約者のうち12人程は利用が無いが、ホリデーサロンに誘いかけて利用実績に結び付けることが必要。</li> </ul>		
契約者数(人)		利用実績			職員数(人)																
	所要日数(日)	要利用者数(人)																			
2018年	53	244	3,650																		
2019年	52	241	3,216																		
2020年	55	241	2,968																		
<p><b>②障害福祉サービス等事業収入</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託事業収入(公費)(円)</th> <th>受託事業収入(一般)(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>26,448,121</td> <td>703,109</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>24,831,975</td> <td>636,507</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>23,723,362</td> <td>594,920</td> </tr> </tbody> </table>		受託事業収入(公費)(円)	受託事業収入(一般)(円)	2018年	26,448,121	703,109	2019年	24,831,975	636,507	2020年	23,723,362	594,920	<p><b>②&lt;受託事業収入について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、通所の自粛や障がい特性等から半日の通所利用が多く、収入が低迷している。そのため、開所日を増やすことで収入の安定を図ることが必要。</li> </ul>								
	受託事業収入(公費)(円)	受託事業収入(一般)(円)																			
2018年	26,448,121	703,109																			
2019年	24,831,975	636,507																			
2020年	23,723,362	594,920																			
<p><b>③経営状況</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>サービス活動収益</th> <th>人件費</th> <th>サービス活動増減差額</th> <th>当期活動増減差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年</td> <td>27,151,230</td> <td>20,772,799</td> <td>-1,376,837</td> <td>-1,321,364</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>25,687,240</td> <td>16,649,737</td> <td>2,799,499</td> <td>2,795,285</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>24,340,000</td> <td>16,800,000</td> <td>1,302,000</td> <td>1,302,000</td> </tr> </tbody> </table>		サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額	2018年	27,151,230	20,772,799	-1,376,837	-1,321,364	2019年	25,687,240	16,649,737	2,799,499	2,795,285	2020年	24,340,000	16,800,000	1,302,000	1,302,000	<p><b>③&lt;経営状況について&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半日利用を少なくし、送迎にかかる経費を削減する必要がある。</li> <li>・利用状況に応じた職員配置をすることで、経営の安定を図ることが必要。</li> </ul>
	サービス活動収益	人件費	サービス活動増減差額	当期活動増減差額																	
2018年	27,151,230	20,772,799	-1,376,837	-1,321,364																	
2019年	25,687,240	16,649,737	2,799,499	2,795,285																	
2020年	24,340,000	16,800,000	1,302,000	1,302,000																	
<p><b>④活動支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の料理教室は活動として定着し、利用者間で相談しながら献立を決め、各々の調理技術を発揮しながら楽しく活動ができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から外出の活動は中止としたが、「夏まつり」「クリスマス会」「餅つき」等の活動は、通所した利用者や職員で楽しんだ。</li> </ul>	<p><b>④活動支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の障がいに対応した活動した活動の工夫が必要である。</li> </ul>																				
<p><b>⑤環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスへの各種対策を迅速に行った(食堂仕切り・検温・マスクの徹底・消毒等)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況に応じて、利用者や職員に文書をもって感染拡大防止に対する理解を得た。</li> </ul>	<p><b>⑤環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新型コロナウイルス対策をしっかりと講じていく必要がある。</li> </ul>																				
<p><b>⑥施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網戸の張替えやコロナウイルス感染予防対策(床感染対策)として食事のテーブルに卓上衝立を設置したが、経費削減のため職員が修繕や作製をした。</li> <li>・施設の老朽化が顕著である。</li> </ul>	<p><b>⑥施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具の交換、石油ストーブの取替え、屋根の修繕が考えられるが、市と協議をしながら適切に対処する必要がある。</li> </ul>																				
<p><b>⑦その他(特筆すべき事項)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月から第四期の指定管理の受託が決定した。</li> </ul>	<p><b>⑦その他(施設整備等特筆すべき事項)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間安定した経営管理をしながら、地域福祉の担い手としての役割を果たしていく。</li> </ul>																				

前年度実績及び評価  
(2020年度最終見込)

1:目指す姿

・個別支援計画に基づき適切な支援を行い、地域生活が継続できるようにする

①法人本部事務局体制の充実

:法人全体の機能充実に向けて具体的に取り組み

- ・法人本部との連携強化

目標 R3年4月 から

②職員体制の再構築

:法人全体の適正な人員配置を検討する

- ・法人本部との連携強化

目標 R3年4月 から

③財政基盤の強化(経営数値)

: 第4期指定管理者として指定を受ける 指定期間:令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間)

- ・ 安定した経営管理の上、地域の福祉サービスの担い手として、責務を果たす
- ・ 新規利用者と高い稼働率の確保による受託事業収入の増額を目指す
- ・ 新規利用者の確保(介護学校・相談事業所・訪問看護ステーション等の連携による市内利用者の掘り起こしをし、契約人数を増やしていく)
- ・ 開所日を増やす(土曜に開所日を入れる)
- ・ 「障がい者地域生活支援事業」に関する申請手続きの援助
- ・ 行政が行う支援区分への助言(本人の状態に合った区分決定)

目標 通年

目標 5 人

目標 8 人/月

目標 8 人

④経営理念の明確化

:全職員が理念・基本方針のもと行動する

- ・ 法人本部との連携強化
- ・ 職員会議等で理念の唱和

目標 R3年4月 から

目標 R3年4月 から

⑤効果的・効果的な事務規律の確立

- ・ 事業所内の業務内容の必要性と役割を見直し、業務の効率化を図る

目標 R3年4月 から

⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実

<人材育成>

:職員のスキルアップ

- ・ 知的障がい者・精神障がい者・身体障がい者への支援スキルを習得するために、定期的に研修会の実施
- ・ 権利擁護意識の強化
- ・ 講師による内部研修と外部研修の受講を計画的に実施
- ・ 「早期発見フェックリスト」等虐待防止に対する取り組みの見直し
- ・ 職員の資格取得に向けての支援
- ・ 資格取得に向けたサポート体制(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネ等)

目標 6 回/年

目標 6 回/年

目標 R3年4月 から

目標 通年

⑦情報収集の強化

- ・ 他機関との連携(高島市役所・市内の相談事業所・働き暮らし応援センター・養護学校・医療機関・訪問看護ステーション等)
- ・ 職員自らが、地域に出向き情報の収集(地域サロンの手広い等)

目標 通年

目標 通年

当年度活動方針と事業の進め方



	<p><b>⑧サービスの質の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模事業所の利点を生かし、満足度の高いサービスの提供</li> <li>・ 保護者(家族)への相談機能を充実させ、レスパイトの役割を果たす</li> <li>・ 季節の野菜、旬の食材を使用した給食提供</li> <li>・ 重度心身障がい者を対象に入浴支援の実施</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table> <p>回/週</p>	通年	通年	通年	2	
通年							
通年							
通年							
2							
	<p><b>⑨安全で衛生的なかつ快適な環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生的な環境と感染予防対策(新型コロナウイルス等)の徹底</li> <li>・ あらゆるリスクに備えた体制整備の強化(第三者委員会・事故防止委員会・ヒヤリハット・事故報告・想定ヒヤリの取り組み強化と課題の抽出、対策の検討)</li> <li>・ 不測の事態に備え、避難訓練の実施(隣接する虹の会大地との協力体制の強化)</li> <li>・ マニュアルの見直しと職員や利用者への周知徹底</li> <li>・ 災害時、福祉避難所運営に向けた取り組みと運営マニュアルの見直し(福祉避難所への被災者受け入れを想定した訓練の実施)</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>2</td></tr> <tr><td>9月</td></tr> <tr><td>9月</td></tr> </table> <p>回/年 完了 完了</p>	通年	通年	2	9月	9月
通年							
通年							
2							
9月							
9月							
<p>当年度活動方針と事業の進め方</p>	<p><b>⑩老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強味を活かす(併設の強味を活かす)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤美泉との情報交換の場と連携</li> </ul>						
	<p><b>⑪地域における公益的な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホリデーサロンの実施により、障がい者が社会に出るきっかけと居場所の提供</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> </table> <p>回/月</p>	1				
1							
	<p><b>⑫魅力ある職場環境の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人本部との連携強化。</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年				
通年							
	<p><b>⑬法人のブランド化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は、専門的な支援スキルを高め、適切な支援をすることで、高島圏域の中での担い手となる</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年				
通年							
	<p><b>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページを使い活動内容等情報の発信の強化</li> <li>・ 公共の場(イベント)を置き、事業所を周知</li> <li>・ 職員が精神障がい者や身体障がい者の当事者や保護者の集まりに参加し、事業所を周知</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>通年</td></tr> <tr><td>R3年4月</td></tr> <tr><td>から</td></tr> <tr><td>通年</td></tr> </table>	通年	R3年4月	から	通年	
通年							
R3年4月							
から							
通年							
	<p><b>⑮先進的な技術やITの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEB研修等の環境整備</li> </ul>	<table border="1"> <tr><td>9月</td></tr> </table> <p>完了</p>	9月				
9月							

令和3年度(2021年度) 事業計画

①契約者数及び利用実績

契約者数 (人)	利用実績 所定日数(日)	实际利用日数(人)
2018年	30	5,977
2019年	26	5,688
2020年	29	5,605

職員数 (人)	
2018年	9
2019年	8
2020年	8

②訓練等給付費

訓練等給付費 (円)	利用者工賃 生産活動総額 (円)	私整備 (円)	平賃工賃月額 (円)
2018年	43,942,298	3,531,824	10,207
2019年	42,115,103	3,210,284	10,224
2020年	42,350,000	2,462,000	7,668

③就労支援事業(生産活動)

就労支援事業総額 (円)	利用者工賃 生産活動総額 (円)	私整備 (円)	平賃工賃月額 (円)
2018年	4,104,555	3,531,824	10,207
2019年	3,529,887	3,210,284	10,224
2020年	2,848,000	2,462,000	7,668

④経営状況

	サービス活動収益	新労支援事業総額 人件費	サービス活動増減差額 (円)	当期活動増減差額
2018年	49,147,715	28,866,404	6,286,081	6,564,289
2019年	46,545,037	27,978,031	5,296,754	4,788,123
2020年	47,111,000	29,703,000	3,883,000	3,684,000

前年度実績及び評価  
(2020年度最見込)

- ①<契約者数・利用実績について>
- ・契約者数29名 (新規利用者 4名 退所利用者 1名)
  - ・長期欠席者に対し家庭訪問等を実施し通所を促したが十分な成果がなかった。
  - ・利用者の長期入院が3名あり、利用実績の減少の要因となった。
  - ・心身の状況により退所につながった利用者があった。

②<訓練等給付費について>

- ・開所日数が2日増えたため、若干の増収となった。

③<就労支援事業について(生産活動)>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で平均工賃月額が大幅に減少した。
- ・地元農家からの受託作業が充実した。
- ・よもぎ湯の葉の原材料「よもぎ」が例年以上に確保でき、年間を通じ安定した生産活動ができた。

④<経営状況について>

- ・サービス活動収益は前年度から増加したが、人件費の増額(人事異動)が収益を減少させた。
- ・送迎計画を見直し、車両を1台廃車することで経費の節減を図った。
- ・建物(設備)・車両の経年劣化による修繕が増加した。

⑤生活支援

- ・新型コロナウイルス感染症への配慮から、県外日帰り旅行を中止したが、施設内で新たなレクリエーションを取り入れ、利用者に好評であった。
- ・市内相談事業所等と連携し契約者が3名増員となった。
- ・強度行動障害の利用者に対する支援を関係機関と共に進めた。
- ・食事席を見直し、見守り体制を整備することで誤嚥等の事故防止に努めた。

⑥環境・施設整備

- ・新型コロナウイルス感染症への各種対策を迅速に行った(食堂仕切り・検温・マスクの徹底・消毒)
- ・配膳用抗菌カート、webカメラを購入、消毒用アルコール、マスク、手袋の備蓄を行った。
- ・リモート会議に参加できる環境を整えた。
- ・送迎車の運用計画を見直したことにより、来年度送迎車両を1台減らす目途が立った。
- ・食堂席を見直し、昼食時の人の出入りの頻度を減らした。
- ・手洗いの際のアルコール消費と食後のテーブルのアルコール消毒を徹底した。

⑧その他(施設整備等特筆すべき事項)

- ・外作業を多く取り入れることにより、重度障害者の積極的な作業参加の促進となった。(中作業中心の利用者の中に、外作業にも興味を示す者がいたことから、今後の業務内容を検討が必要)
- ・食事の見守り体制を見直したことにより職員の休憩時間確保につなげた。
- ・利用者の高齢化による作業能率低下が見受けられる。

**1: 目指す姿 どのような事業所を目指すのか。**

利用者の個性を活かし、楽しく働くことで、充実した毎日が送れるよう支援する。その人にとっての「居場所」を作る。 — **自分らしさを再発見！ 働く喜びを見つけよう。** —

**①法人本部事務局体制の充実**

: 法人本部の機能充実に向けて本部と連携して取り組む

**②職員体制の再構築**

: 法人本部と連携して事業量に見合う人員配置を再検証する

**③財政基盤の強化**

: 新規利用者の確保と稼働率の向上による訓練給付費の増額を目指す

- ・ 新規利用者確保の目標人数
- ・ 稼働率の向上の目標日数

新旭養護学校・相談事業所・精神病院地域連携室との連携による市内利用者の掘  
10月より第1、第3土曜日の追加開所(月の開所上限23日に近づける)

上記を実施することで、目標値を達成する

目標	2人
目標	248日

(単位:千円)

**④経営理念の明確化**

: 法人本部と連携して理念・基本方針のもと、朝礼時に「たかしま会理念」を唱和する

当年度活動方針と  
事業の進め方

**⑤効率的・効果的な事務規律の確保**

: 法人本部と連携して事業所内の事務の見直しとコスト意識の醸成を図る

: 「気づきメモ」による事務の合理化および危険回避

毎週月曜日「気づきメモ」の内容を報告し事務の合理化や危機管理等に努める。また、1年間を振り返り評価する。

通年

**⑥トータルな人材マネジメントの整備 人材育成・サービスの充実**

〈人材育成〉

: 職員のスキルアップ(3障害に対する知識の習得)

- ・ 職員研修

: 職員のスキルアップ(利用者工賃向上に対する知識の習得)

- ・ 職員研修

: 職員の資格取得に向けての支援

- ・ 支援予定人数

: 楽しく働ける職場づくり

休憩時間の確保や福利厚生の実装等、安心して働ける職場づくりを行う。

強度行動障害基礎研修に参加する

目標 2人

滋賀県社会就労事業振興センター講師による研修や他事業所の視察を行う

目標 8人

大型特殊免許取得に向けての支援を行う

目標 1人

**⑦情報収集体制の強化**

: 多職種連携を強化する

: SNSの有効活用

市・県・相談事業所・働き暮らし応援センター・特別支援学校・高島病院・琵琶湖病院・滋賀里病院・各グループホーム・B型事業所等との連携強化  
公式インスタグラム等の開設による全国の事業所との情報交換と交流を実施する

⑧サービスの質の向上

〈就労支援事業への支援〉

- : 個別支援計画の作成
- : 虐待防止への取り組み
- : 職業指導員会議の充実
- : 利用者の長期欠席者への対応の充実
- : 各種行事の充実
- : 第三者委員会等への情報提供
- : 就労者の育成
- : 体験実習の受け入れ

利用者のニーズ調査を徹底し、自立支援につなげる計画を作成する  
 チェックリストを評価する仕組みを作成する  
 毎週、具体的な数値をもって開催し、新型コロナウイルス感染症等の不特定要素の危機を事前に察知する  
 定期的な家庭訪問を実施する  
 日帰り旅行や、忘年会等の企画は利用者目線でマンネリ化しないよう、職員がアイデアを出し合い検討する  
 苦情案件はもろろん業務遂行上の課題を提出しサービスの向上に努める  
 工房から就労者を社会に送り出す  
 体験実習を積極的に受け入れ、契約者の増加に努める

目標	2	回/年
目標	1	人/年
目標	3	人/年

〈就労事業への支援＝工賃確保〉

- : 自主製品のネットショップ開設準備
- : 自主製品の販売店舗の拡大
- : よもぎ湯の菓の増産体制の確立
- : よもぎ湯の菓原料の安定確保
- : 重産障営者向け新商品の開発
- : 芸術作品等の商品化の検証
- : 野菜のブランド化の検討

目標	2	店/年
製造目標	100	袋/月
目標	1	点/年

戦略の検討(取り扱い製品・開設市場の動向調査、顧客獲得戦略等)  
 既存の市内道の駅以外に販売先を開拓をする  
 ポラテニア・職員OBの協力を得た増産体制を確立する  
 従来作業に加え、地元老人会等と委託契約を締結し原料確保の安定化を図る  
 作業工程の一部に、重度障害者が関わられる試作品の検討をする  
 (例: 杉板細工、ヒノキ風呂の棗、メタセコイア腐葉土等地元観光地とのコラボ商品開発)  
 地域のアーティストや大学と連携して開発プロジェクトチームを立ち上げ方向性を模索する  
 新品種への挑戦と栽培マニュアルの作成。ブランド化に向けた検討をする(障営者＋耕作放棄地＋地元高齢者＝品種とストーリーづくり)

⑨安全で衛生的かつ快適な環境の整備

- : 防災マニュアル・防疫マニュアルの見直し
- : 消火訓練・避難訓練の実施
- : バリアフリー設備等の老朽化対策

既存のマニュアルを見直し、職員や利用者へ周知徹底を図る  
 消火訓練がマンネリ化しないよう工夫しながら実施する  
 定期的な館内の見回りによる点検と修繕を実施する

目標	2	回/年
目標	2	回/年

⑩老人福祉施設と障がい者支援施設の併設の強味を活かす

- : 藤波園入所者との連携強化

土曜開所日のコーヒータムや昔の遊び等による交流の企画、農作業の合同作業や、それに伴う「収穫祭」等のイベント開催の企画について  
 ニーズ調査を行ない藤波園と協議する

目標	4	回/年
----	---	-----

⑪地域における公益的な取り組み

- : 社会貢献事業「行こカー」へ協力
- : 地域の公的な活動への参加

毎月第三火曜日に職員が出役する  
 要請に応じ、地域の研修活動、学校の福祉教育に講師として出役する  
 足湯体験等イベントや健康教室への出前講座を行う

目標	12	延・人/年
目標	2	延・人/年
目標	4	回/年

	<p><b>⑫魅力ある職場環境の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 法人本部と連携して魅力ある職場環境の構築を図る</li> <li>・ 楽しく働ける職場づくり</li> </ul> <p>休憩時間の確保や福利厚生充実等、安心して働ける職場づくりを行う。(再掲)</p>
	<p><b>⑬法人のブランド化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 全自主製品にロゴマーク貼り付け検討</li> </ul> <p>たかしま会で採用されたロゴマークを使用する</p>
<p>当年度活動方針と事業の進め方</p>	<p><b>⑭広報活動の充実(情報発信の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: HPや広報誌の発行を充実</li> <li>: ボランティア団体との共同作業の場の構築</li> <li>: SNSの有効活用</li> </ul> <p>法人本部と連携しHPや広報誌の充実を図る 民生・児童委員等に呼びかけ利用者地域住民との共同作業の場を設け交流を深める 公式インスタグラム等の開設による事業活動のPRを行う</p> <p>目標 <input type="text" value="4"/> 回/年</p>
	<p><b>⑮先進的な技術やITの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 新型コロナウイルスへの対応として外部研修の受講体制を整える:</li> <li>: (再掲)自主製品のネットショップ開設準備</li> <li>: (再々掲) SNSの有効活用</li> </ul> <p>リモート研修を受講できる設備を整える。 戦略の検討(取り扱い製品・開設市場の動向調査、顧客獲得戦略等) 滋賀県社会就労事業振興センター講師によるコンサルテーションを受ける 公式インスタグラム等の開設による広報活動の展開</p> <p>目標 <input type="text" value="10"/> 回/年 <input type="text" value="4"/> 回/年</p>